

～ どんな仕事に就こうか、検討中の皆様へ ～

1. 土木という仕事とは、どんな仕事か

- 一人では造れないような、でっかい物を、仲間や他業者の方とも協力し合って造り上げていく仕事。
- 自分がたずさわった仕事は、目に見える形となって長期間にわたり残ることが、いいところ。
- 求められる資質は、協調性。スポーツで言えば、単独プレーよりも、チームプレーが好きな方は、適していると言える。
- 規格品ではなく、特注品を作る仕事。ひとつとして、同じ仕事は無い。自然の中では、毎回、地質、地形、天候、その他いろいろな条件が異なるため、その場その場での工夫が必要となる。だから、ひとりで考えるのではなく、みんなの考えも聞いて、良いところを取り入れる姿勢が大切。
- 大きな機械に乗ることだけが仕事ではない、細かい仕事から、大きい仕事まで、業務内容は多様。木の伐採、重機の運転、ダンプの運転、型枠大工、石工、法面工、ガードレール工、舗装工、溶接工、鉄筋工、下水道工、浄化槽、上水道、給水装置、解体、測量、設計、積算、CADなど。だから、いろいろな人が働ける。全てを極めようと思えば、難しいかもしれないが、かなりやりがいはある仕事。
- 多種多様な工種があり、時には専門工事業者の力も借りての工事となるため、求められるものを造るためには、全体をまとめる人、管理する人が必要となる。土木施工管理技士。工事は、ひとつのプロジェクトと言っていい。そのプロジェクトには、プロジェクトマネージャーが必要。カッコよく言えばそんな感じ。複数人でやる仕事なので、管理をしなければ、いいものはできない。リーダーシップを取ることが得意な人、または、管理することが得意な人には、楽しいと思う。
- 管理だけでは、物は作れない。実際に作る、ということをするから、物はできる。いわゆる職人と呼ばれる人達や、専門工事業者と呼ばれる人達をはじめ、普通作業員、特殊作業員などが実働する。しかし、土木一式工事においては、いろいろなことを幅広くできることが求められるため、プロ意識はあるかもしれないが、あまり、職人という意識は少ない。たとえ管理者であっても、作業をする。作業をするというよりかは、一緒に物をつくっているということ。物をつくること、みんなと協力することが好きな人は、土木に向いている。

○職人という仕事。極めた人というのは良く分かる。職人の人に、「職人とはなんですか？」と聞いたことがある。その人は、「工場などで、できないようなこと、つまりは、現場での微妙な誤差や、前の工程でのズレなども考慮して、求められるものを調整しながらできる人。そういうことができるから職人。」というようなことを言われた。職種によっても異なるだろうが、特に現場では、1+1=2 というように、全てがきっちりと出来ることはほとんど無い。むしろ、微妙なズレなどが出るのは当然ともいえる。そんなことも考慮しながら、その条件を克服する対応をし、求められるものをつくるのが職人。一般土木では、法面を切ったり整形をする重機のオペレーターや、アスファルト舗装の碎石を均すグレーダーという重機のオペレーター、型枠大工、ブロック積み・石積みをする石工、鉄筋を組み立てる鉄筋工などが職人と呼んでもいい職種。つくることが好きで、極めることが好きな人は、土木に向いている。

○土木の工事現場は、「測量にはじまり、測量に終わる」。着手前の確認の測量、計画の中心線等を計算し、つくるものの位置や長さなどを実際に現場に出す。測量が無いと、計画している場所に、構造物をつくることはできない。そして、施工中も、確認の測量をし、最後に、できあがったものをが、設計どおりにできたかの、出来形測量を行う。「測量にはじまり、測量に終わる」。そう言われるほど、測量は大切。数学が好きな人、計算が好きな人、比較的、細かい仕事得意な人、事務仕事だけではなく、現場で働くことをやってみたい女性にも、お勧めの仕事。

○現在土木は、ITの活用が進んでいる。発注者とのやり取りは、「工事中情報共有システム」というものを活用しつつある。工事の進め方などは、「工事打合せ簿」というもので、書面にしながら進めていくが、その提出や、承認（担当者や上司が確認して押印していく）作業は、そのシステム上で出来る。また、工事完了後に提出する、工事に変更した箇所を修正したCAD図面や、施工状況などを撮影した写真なども、そのシステム上にアップし、保存することにより、お互いに確認ができるし、維持管理のときにも効率よく図面を参照したりすることが出来る。これは、CALS/EC（キャルス/イーシー）と呼ばれ、公共事業支援統合情報システムのひとつで、建設・土木分野の公共事業で、入札や受発注に関連する書類や図面などをデジタルデータとして作成・交換するための仕様や手順の標準を定め、入札、発注、納品などのプロセスを電子化することをいう。こういったことは、工事をつくっていく職人さんには、なかなか出来ないことであり、若くてパソコンに抵抗が無い方、パソコン仕事得意な方、好きな方に適した仕事である。

○工事成績評定 公共土木工事は、現在、安かろう悪かろうではなく、「品質の確保」を実現するため、工事の通信簿のような、いわゆるテストの点のような感じで、「工事成績評定点」というのを、中間検査、竣工検査を通して採点する。この点数が高い業者や主任技術者のいる会社は、入札時にアドバンテージが与えられる。そのため、成長しようとしている会社は、高い成績点をとれるように努力をしているところ。高い

点数を取るには、各種管理をきっちりとやること、そして、それをわかりやすく整理し、説明ができなければならない。几帳面な正確な人や、説明したり、プレゼンテーションが得意な人は、是非、高得点獲得をチャレンジしてほしい。

2. 土木の大変なところ

○とにかく、書類が多い。根拠や証拠を提示することがひとつの重要な仕事なので、書類が多くなる。

○室外の仕事なので、暑い、寒いなどを体感しながらの仕事となる。また、汚れることも多いので、インドア派の人は、現場はきついかもしれない。(反対に、机での仕事が苦手で、体を動かすほうが好きな人には、向いている。インドア派の人は、書類作成やCAD図面の作成を行うということもできる。)

○事務職に比べて、危険なことが多い点。

○対外関係に連絡・調整が必要。地権者、水利権者、公共交通機関、道路通行者、警察、消防、漁協、架空線・埋設物管理者等。

3. 現在の取組みと、今後の展望

○高い工事成績評定点を獲得しようと、全社で取り組んでいる。月一回の打ち合わせ会議の開催や、工程の進捗の管理・把握、人材の確保と柔軟な配置などに取り組んでいる。

○土木は、ひとりでは出来ない仕事であり、人数がいないと仕事は進まない。現在は、人材の確保に力を入れている。特に、若くて現場のものづくりを担う方や、管理をする方、測量をする方の全てを求めている。

○社内の体制を、更に整え、強固なものにする。5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）や、継続的改善（PDCAサイクルを回す）などに取り組むとともに、事業所運営組織などの組織化も図りつつある。

○企業理念、社訓を掲げ、常にブレることなく、普遍の原則に従いながら事業を進めることで、信頼と実績を積み重ねながら、永続繁栄する企業体となれるように努力をしている。

○工事測量、特に3Dデータの作成、トラバース測量などの、現場測量への進出を図り、将来の主要な事業のひとつとなるように成長をさせたい。

4. 会社概要

社名： 株式会社 美和建设 (みわけんせつ)
所在地： 〒731-2202 広島県山県郡芸北町大字溝口 140 番地
電話： 0826-38-0121 (代表)
IP 電話： 050-5812-2121
F A X : 0826-38-0088

沿革

昭和 54 年 8 月 2 日 美和建设 設立
昭和 55 年 5 月 21 日 有限会社 美和建设 に組織変更、資本金 300 万円
平成 7 年 9 月 12 日 資本金を 2,000 万円に増資
平成 8 年 4 月 1 日 株式会社 美和建设 に組織変更

主な事業

- 広島県発注工事、北広島町発注工事・・・80%
林道工事、砂防ダム工事、道路改良工事、河川災害復旧工事など。
- 民間工事・・・20%
庭まわりの工事、農業用水路等の修理・改善工事、駐車場舗装工事、
家屋解体工事、浄化槽設置工事、給水工事、分水工事など

兼業事業

- 県道、町道の除雪作業・・・冬季期間のみ
- 建設発生土の最終処分場の運営・・・冬季期間以外
- 太陽光発電

従業員数

- 正社員 11 名 (社長をのぞく)
- アルバイト 1~5 人

企業理念・社訓

- ものづくりを通じて、幸せを創造する
- 事業は人なり、人は和なり